環境経営レポート

エコアクション２１

＜令和４年４月～令和５年３月＞

有限会社　城東化成

作成：令和５年５月 15 日

当社は、下記の環境方針を定め、エコアクション２１の環境経営システムを構築し、環境活動に取組んでいきます。

ー環境理念ー

有限会社 城東化成の事業活動に関る全ての生産及び消費活動によって地球環境に与える環境影響を認識し、これらの環境方針を定め、環境保全活動を継続的に推進して地球環境との調和を目指します。

ー行動指針ー

1　環境に関する法規及びその他の要求事項を遵守し、地域社会との調和に努めます。
2　二酸化炭素排出量の低減のために省エネ及び省資源に努めます。
3　廃棄物の削減及びリサイクルを推進し低減に努めます。
4　節水に対する意識を高め、排水量を把握し、総排水量の低減に努めます。
5　グリーン製品の購入に努めます。
6　事業活動による環境負荷を適切に管理し、汚染の予防に努めます。
7　地域社会への貢献活動を行います。

全従業員が環境保全活動を積極的に実践できるよう、この環境方針の周知と環境意識の向上を図り、環境方針は社内外に開示して地域住民の皆様との環境コミュニケーションに取り組みます。

2008 年 9 月 20 日　　制定
2011 年 6 月 22 日　　改訂
2019 年 4 月 1 日　　改訂
有限会社 城東化成
代表取締役　　小原　公明

《　活動レポート　　目　次　》

1. 事業概要　(4 ページ)
　1)　事業者名及び所在地
　2)　環境管理の責任者及び担当者連絡先
　3)　事業内容
　4)　事業の規模
　5)　環境年度

2. 環境負荷の実績と環境目標　(5 ページ)

3. 環境活動計画　(6 ページ)

4. 管理活動計画　(7 ページ)

5. 取組体制
　5-1 環境組織図　(7 ページ)
　5-2 役割と責任　(8 ページ)

6. 環境取組期間の環境目標と実績及び評価
　6-1 環境目標と取組実績　(9 ページ)
　6-2 実績評価と今後の取組　(10 ページ)

7. 代表者による全体の評価と見直し　(10 ページ)

8. 環境法規制の遵守状況　(10 ページ)
　8-1 環境関連法規の遵守及び違反の有無
　8-2 指摘、訴訟等の有無

1. 事業概要

1)　事業者名及び所在地

事業所　　：有限会社 城東化成
代表取締役　：小原　公明
所在地　　：熊本県上益城郡益城町福原 37-1

2)　環境管理の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者：藤本　政義
連絡担当者　　：藤本　政義
連絡先
TEL：096-286-3183　　FAX：096-286-0421
Mail：fujimoto@jyotokasei.co.jp

3)　事業内容

プラスチック製品等製造業
・二輪・四輪・汎用・部品のプラスチック成形加工

4)　事業の規模

2022 年.4 月～2023 年.3 月

活動規模	単位	31 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
主要製品生産量	t	150.9	136	142.5	148
売上高	百万円	164	143	143	150
従業員	人	24	26	26	27

5)　環境年度

期首；４月　　期末：３月

２．環境負荷の実績と環境目標

2-1　環境負荷の実績

項目	H31 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
電気使用量　　(kwh)	615.371.00	577,593.00	641,809.00	630,569.00
ガソリン使用量（ℓ）	425.00	329.00	248.00	191.43
軽油使用量　　（ℓ）	4,957.00	4,423.00	4,310.00	4,150.03

2-2　環境目標

		環境目標		
		基準年（R3 年）	R4 年度	R5 年度
番号	項目（活動期間）	R3.4～R4.3	R4.4～R5.3	R5.4～R6.3
1	二酸化炭素排出量	R3 年度実績 234,424.69（kg-CO2）	R3 年の 1%削減 232.080.44（kg-CO2）	R3 年の 2%削減 229.759.63（kg-CO2）
1-1	電気使用量の削減	R3 年度実績 641,809.00(KW-h)	R3 年度の 1%減 635.390.91(KW-h)	R3 年度の 2%削減 629.037.00(KW-h)
1-2	ガソリン使用量削減	R3 年度実績 248.00(ℓ)	R3 年度の 1%削減 245.52(ℓ)	R3 年度の 2%削減 243.06(ℓ)
1-3	軽油使用量の削減	R3 年度実績 4,310.00(ℓ)	R3 年の 1%削減 4,266.90(ℓ)	R3 年の 2%削減 4,224.23(ℓ)
2	プラスチックリサイクル率の向上	100%	100%	100%
3	産業廃棄物リサイクル率の向上	100%	100%	100%
4	水使用の節水活動	節水活動の実施	節水活動の実施	節水活動の実施
5	環境負荷施設（産廃置場、廃油置場、射出成形機周辺）の管理	環境施設の 5S 活動の実施	環境施設の 5S 活動の実施	環境施設の 5S 活動の実施
6	地域社会への貢献 会社周辺の清掃	１回／年	１回／年	１回／年

（注記）

1. 水使用の節水活動に関しては、地下水使用でメーター未設置の為、データが収集できず、基準値が設定できません。又、生活用水の使用が主で使用量は給湯程度ですので、数値目標は設定せず節水活動にしました。
2. プラスチックリサイクル量の向上については、分別活動を実施します。
3. 一般、産業廃棄物に関しては、分別の徹底を行っていきます。

３．環境経営計画

環境方針及び環境目標を達成する為に下記の環境活動計画を設定し、取り組んで行きます。

項目	具体的な活動	活動頻度	事務所	製造現場
省エネ【担当：小原晴、江操】	昼休みの消灯	毎日	○	○
	使用時以外のトイレ、検査室等の消灯	毎日	○	○
	OA 機器の退社時の電源オフ	毎日	○	○
	空調機フィルターの定期的清掃	2 回／年	○	○
	日よけ、ブラインドによる室温上昇防止	毎日	○	○
	使用しない機械、製造機器の電源遮断	毎日		○
省資源【担当：山崎】	事故防止（急発進、急加速、急ブレーキ抑制）	毎日		○
	車間距離（車2台以上）	毎日		○
	過積載の禁止	毎日		○
	設備の効率的な運転	毎日		○
	使用しない設備の運転を控える	毎日		○
	設備の断熱の工夫をする	適時		○
プラスチックリサイクル【担当：江操】	分別活動の実施	毎日		○
	使用量、排出量の把握	1 回／月		○
	リサイクルの推進	毎日		○
水の使用【担当：小原晴、山田】	水使用量の把握	適時	○	○
	節水の推進	毎日	○	○
	節水ステッカーによる目で見る周知	毎日	○	○
製造関係【担当：藤本】	工程の 5S の推進	毎日	○	○
	工程内不良集計・原因解析・対策	毎日		○
	製造工程による廃棄物の適正処理（1年目集計・2年目対策・3年目効果確認）	毎日		○
	環境法規制の遵守評価	1 回／年	○	○
	緊急事態の準備及び対応	1 回／年	○	○
産業廃棄物【担当：藤本】	産業廃棄物の分別	毎日		○
	リサイクル、再資源化の推進	毎日		○
	産業廃棄物置場の適正な管理	毎日		○
一般廃棄物【担当：小原晴、山田】	社内情報のペーパーレス化（社内メール、掲示等の活用）	適時	○	○
	裏紙使用の推進	毎日	○	○
	ゴミの分別の徹底	分別時	○	○

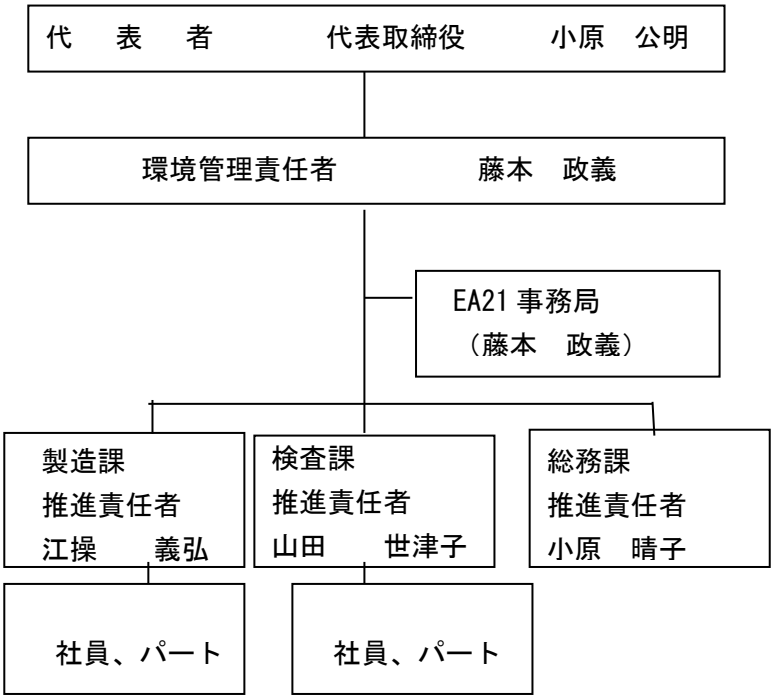
４．管理経営計画

環境に悪影響を及ぼさない様に、管理すべき項目と場所を特定し、活動内容を明確にし、管理活動に取り組んで行きます。

項目	場所	具体的な活動
産業廃棄物の管理 【担当：江操】 毎月１回	産業廃棄物置場	①管理場所の設置 ②置場表示、責任者表示（廃棄物処理法） ③維持管理 ・飛散の有無の確認　・整理整頓状況の確認
廃油の管理 【担当：大園】 毎月１回	廃油置場	①管理場所の設置 ②置場表示、責任者表示 ③維持管理 ・飛散の有無の確認　・整理整頓状況の確認
機械油の管理 【担当：江操】 毎月１回	射出成形機廻り	維持管理 ・作業終了時の５Ｓの徹底 ・機械油漏洩の有無の確認 ・漏洩時のふき取りの実施

５．－１取組体制

当社の環境経営システムに取組む為の環境組織を下記に示します。



５．－２　取組体制の役割・責任

当社の取組実施体制の役割と責任を下記に記します。

担当部署	活動内容	活動詳細	確認内容	推進責任者
製造課	5Ｓと工程内不良削減 工程内不良の原因分析 対策・効果確認	工場内の５Ｓを日々意識し、工程改善に努め工程不良削減を行（ムリ・ムダ・ムラ）の低減を行う	工程内の改善提案の吸い上げを行い改善の指示・確認を行う	藤本
	有価樹脂分別と緊急事態の対応・訓練	社内不良品の有価樹脂の分別・緊急事態時の訓練	樹脂分別容器に違う樹脂が混入していないか日々確認 緊急事態の訓練は１年１回の頻度で訓練実施	藤本
検査課	単品検査工程の実施と不良品の分別	工程内で発見した不良品は樹脂グレード毎に仕分けする	樹脂のグレード毎に分別しているか日々確認を行う	藤本
総務課	事故防止活動と省エネ運転	３急運転を避け安全運転の実施	運転者への（急発進・急停止・急ハンドル）を禁止し車間距離を車２台分確保し安全運転するよう指導・教育を行う	小原
全員参加	工場内の5Ｓと節電・節水	日々の５Ｓ活動と、節水・節電に心懸ける	推進責任者は工場内の５Ｓが出来ているかの確認と、節電・節水の声掛けを従業員に行い習慣化する	小原
	地域社会への貢献	工場周辺の清掃	実施状況の確認	

【注記】上記の取組活動を円滑に行う為、推進責任者への権限を与えます。
上記取組活動の目標に対して、未達項目があった場合は、未達項目と原因・対策を取りまとめ是正処置の変更を行う事。

６．環境取組期間の環境目標と実績及び評価

６－１．環境目標と取組実績（R4 年度）

当社におけるR4 年 4 月～R5 年 3 月までの目標値
と実績を示します。(数値目標は前年度対比 1%削減)

項目	目標値	実績	達成度	判定
1. CO2 排出量（kg-CO2）	232,080.44	229,979.00	101%	○
1-1 電気使用量　（kwh）	635,390.91	630,569.00	101%	○
1-2 ガソリン使用量（ℓ）	245,52	191.43	128%	○
1-3 軽油使用量　（ℓ）	4,266,90	4.150.03	103%	○
2. プラスチックリサイクル率の向上（%）	100%	100%	100%	○
3. 産業廃棄物リサイクル率の向上（%）	100%	100%	100%	○
4. 水使用量	節水活動実施	節水活動実施	節水活動実施	○
5. 地域環境に配慮した製造工程、負荷の管理	環境負荷の適切管理	環境負荷の適切管理	実施済	○
	5S の実施	5S の実施	実施済	○
6. 地域社会への貢献	清掃活動 1 回	1 回実施	実施済	○

※電気使用量のＣＯ2 実排出係数は九州電力の 2018 年度 0.347(kg－CO2/kWh)を使用

※達成度判定基準　100%以上は○、99～80%は△、　79%以下は×。×判定のみ是正処置を行う。

６-２.環境目標･環境活動の実績評価と今後の取組

（１）二酸化炭素排出量の削減

ＣＯ２排出量の削減が出来た。

（１）－1 電気使用量の削減

R4 年度は達成出来た。今後更に節電意識を高め削減に努めていきます。

（１）－2 ガソリン使用量の削減

輸送回数減になり達成できた。

（１）－3 軽油の削減

R4 年度はアイドリングストップ,エコドライブで達成できた。

＜次年度の対応＞

二酸化炭素排出量は、生産量等で変化したが、次年度も継続して取り組んで行きます。

（２）プラスチックリサイクル量（率）の向上

R4 年度も分別活動の継続の結果、定着化が出来たと判断します。

（３）水使用量の削減

地下水使用で数量の把握が出来ないので節水活動に取組みました。活動に取組む事により、節水活動の意識が会社全体に浸透してきました。使用だけでは無く、排水にも油などが排出しないことが大切だと気づきました。地道な活動ですが熊本の美味しい水を大切にしていきます。

（４）地球環境に配慮した製造工程、負荷の管理

EA21 の取組みと同時に製造工程周りの状況を見直しました。日頃から気をつけていたのですが、環境の目で見てみると機械周りの５Ｓや油の管理がもっと必要だと感じました。又、

産業廃棄物置場や廃油置場などにも目を配り、管理するようになりました。今後も引き続き環境負荷に気を配り、工夫をしていきたいと考えています。

(5) 地域環境への貢献（清掃活動）

地域とのコミュニケーションを大切にしたいと考え、数年前から始めています。企業の信頼性向上の意味合いもあり、今後は回数を増やしたり、範囲を広げたり、色々な工夫をしながら継続していきます。

＜総論＞

今回のCO2目標は達成できた。更に従業員一枚岩となり、環境を一つのキーワードとして、経営に資する様な活動を目指したいと考えています。

７．代表者による全体の評価と見直し

環境目標は一定の成果に繋がったが、今後も（ムリ，ムダ，ムラ）の改善を通して更なる向上に取り組んで行きたい。社員の意識も向上してきたが、さらに危機意識を持ち、社員への環境活動の定着化に努める。

工程内不良の削減を行い、廃棄ロス、原材料ロス、生産ロスの減少に取り組みます。

尚、システムを運用して約 14 年半であり、環境方針、システムの変更は特に必要ないと判断します。

震災から 7 年が経過し、受注の増減が予測されるが、従業員一丸となり明るい環境つくりに努めます。

令和 5 年 5 月 15 日

代表取締役　小原　公明

８．環境法規制の遵守状況

８－１．環境関連法規の遵守及び違反の有無

環境法規制の遵守活動を行い、その遵守評価を環境関連法規などの取りまとめを「遵守評価表」で行った結果、遵守しており環境法規への違反はありません。

＜対象法規名称＞

１.廃棄物処理法　　２.騒音規制法　　３.下水道法

４.フロン排出抑制法　５.家電リサイクル法　６.自動車リサイクル法

８－２．指摘、訴訟等の有無

環境法規制の遵守活動を通して、過去 12 年間にわたり、関係当局よりの違反等の指摘はありません。

また、周辺住民からの苦情もなく、訴訟についてもありません。